

2022年9月8日

## 2022年度後期の授業について

文学部・文学研究科

WITHコロナの生活が続いています。第7波はやや沈静化の兆しを見せているものの、いまだ予断を許さない状況にあります。

このような中、10月1日から後期が始まります。文学部・文学研究科では、全学の方針およびこれまでの経験を踏まえ、次のように学部専門課程および大学院の授業を実施します。

【参考】新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針（BCP）レベル1

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/covid19BCP/pdf/campus/BCP20220624.pdf>

### 1 基本方針（原則）

全学の方針をふまえて、BCPレベル1の場合には、原則として対面で授業を実施します。ただし、オンライン授業によって教育効果をあげられるものについては、それを積極的に活用します。また、対面授業の実施にあたっては、基礎疾患を有しているなどの理由で配慮を希望する学生の皆さんに一定の対応をいたしますので、希望のある方は教務係までお知らせください。この件に関しては別途連絡します。

#### 1.1. BCP レベル1の場合

- (1) 原則、学部および大学院の全科目の授業を対面で実施する。
- (2) マスク着用の徹底及び換気等の十分な感染防止策を施しながら、教室の従来（コロナ禍前）の収容定員まで入室を認める。

#### 1.2. BCP レベル2の場合

- (1) a. 学部1年次配当の科目は対面で実施する。
- b. 学部2年次以降の科目および大学院の科目は次のとおりとする。

実技科目（実験・実習・実技等）は対面で実施する。

演習科目（演習・講読等）は対面で実施する。

講義科目（概論・各論等）はオンラインで実施する。

- \* 対面実施予定の科目も初回の授業はオンラインで実施します。
- \* 対面実施することとしている授業科目においても、授業効果の観点からオンラインが適当である場合はオンラインで実施します。同様の理由で、講義科目であっても対面実施することがあります。
- \* 全学教育科目、他学部・他研究科の開講科目については、それぞれの方針で実施されます。

### 1.3. BCP レベル 3 の場合

- (1) 1 年次全科目、2 年次実技科目・演習科目、全学年の実技科目、大学院総合科目Ⅱのみを対面で実施する。その他はオンラインで実施する。

(以下略)

### 1.4. BCP レベル 4 の場合

- (1) 全科目をオンラインで実施する。

## 2 具体的な受講手続き

今後の予定については、別紙「2022 後期授業受講までの流れ」に示しました。9 月 26 日 (月) 頃に時間割表を公開します。時間割表には、授業ごとの Classroom のクラスコードが記されていますので、それに従って Classroom を見れば、授業方針や形態を知ることができます。その後の手続きについては、「2022 後期授業受講までの流れ」をよく読んでください。

## 3 その他

### (1) 集中講義

別途連絡します。

### (2) 研究室など施設の使用について

文学部・文学研究科では、研究室など施設の使用についてガイドラインを作成し、学生の皆さんに遵守してもらっています。ガイドラインは以下の文学部・文学研究科ウェブサイトで見ることができます。

<https://www.sal.tohoku.ac.jp/jp/news/covid19.html>

### (3) 自学習スペース

文学研究科研究棟 1 階東側の学生談話室をオンライン授業受講のための自学習スペースとします。

文学部・文学研究科開講科目  
後期授業受講までの流れ（学生向け）

2022年9月8日  
感染対策学務関係WG

